

【 9 月の気象 】

9 月は、「仲秋」「月見」など秋を意味する季語が多いですが、最高気温が 30 度を超える真夏日も多く、まだまだ暑い日が続きます。昨年(2024 年)の 9 月は、県内アメダスのいずれかで最高気温が 30 度を超えたのが 27 日、一昨年(2023 年)は 29 日ありました。農作物の管理や熱中症に注意が必要です。

「台風」も 9 月の季語となっています。9 月は台風の発生数、日本への接近数、上陸数が多くなる月です。年間の発生数の平均値は 25.1 個です。9 月は 8 月に次いで発生数が多くなっています。また、上陸数は 9 月が一番多く(図 1)、昨年も 9 月 5 日に台風第 15 号が愛南町付近に上陸しています。石鎚山成就社では 150mm 近い総降水量となりました。南予では、落雷が原因とみられる農業用施設等の火災が発生しています。

台風による愛媛県への影響(暴風、大雨、高潮等)が予想される場合には、愛媛県気象解説情報(台風第〇号)を発表します。新しくなった防災気象情報を活用し早めの対策をお願いします。

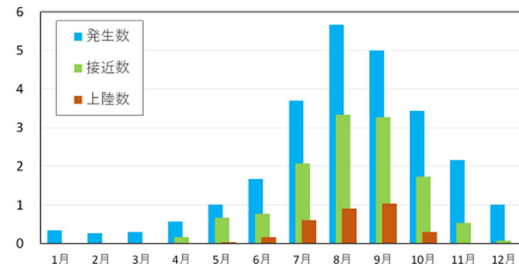


図 1 月別の台風発生・接近・上陸数の平均値
(縦軸：個数、横軸：月、1991 年～2020 年の 30 年平均)

【 気象用語 】 2 週間気温予報

週間天気予報より先の 2 週間先まで、地点ごとの最高気温、最低気温と地域ごとの日平均気温を予報しています。毎日、14 時 30 分頃に更新しています。気象庁ホームページ(図 2)の図で、愛媛県の位置をクリックすると、松山の過去 1 週間の経過と、向こう 2 週間の予報をまとめて、気温の変化を示した図が表示されます(図 3)。

図中の①では、松山の最高気温と最低気温を数字で記載し、それぞれが平年と比べて高いか低いかの階級を色※で示しています。1 週目の予報は、週間天気予報で発表となる気温と同じ値です。2 週目は、予測の不確実性が高くなるため、最高気温と最低気温の 5 日間平均の値を予報しています。例えば、19 日に示されている予報は、その前後 2 日間、つまり 17 日～21 日の 5 日間の平均になります。

②では、松山の最高気温と最低気温の推移をグラフで示します。緑の線が平年値、赤色が最高気温、青色が最低気温です。四角形で予測範囲を示す誤差幅を示しており、1 週目は日別の気温の予測であるのに対し、2 週目は 5 日間を平均した予測値であるため、直接比較はできないことになります。2 週目は予測誤差を示す四角の横幅を太く表示して、区別しています。

③では、四国地方の平均的な気温が、平年と比べて高いか低いかの階級を色で示しています。地点(松山)の気温予測に比べ、地域(四国地方)の平均気温の予測の方が、精度は高い傾向があります。

※色の階級は、平年に比べて高い(33%)をオレンジ色、低い(33%)を水色で色分けし、平年並の範囲に入っていれば白色で表示されます。このうち、10 年に 1 度程度(10%)しか起きない高温を、赤色(かなり高い)、低温を青色(かなり低い)で示します。

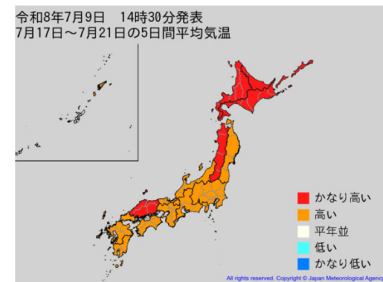


図 2 2 週間気温予報の全国地図

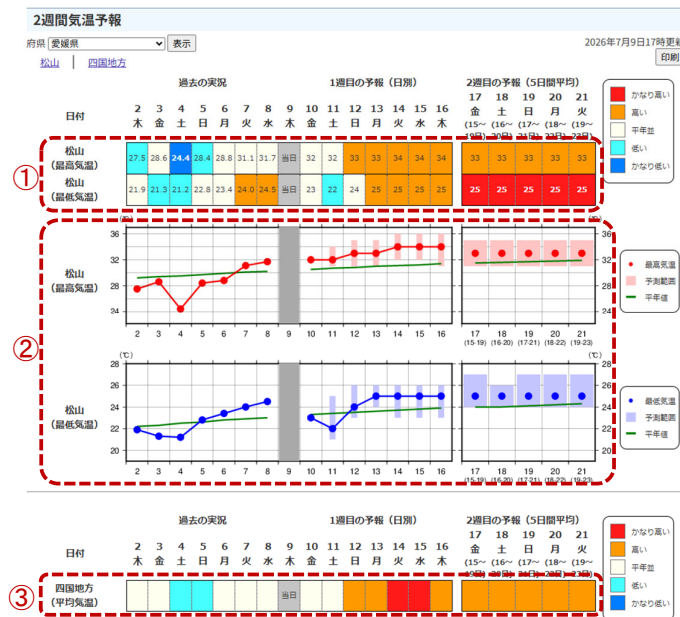


図 3 2 週間気温予報の府県別ページ

〔 上から、①地点(松山)の最高気温と最低気温の値、②推移グラフ
③地域(四国地方)の平均的な気温の階級を表示 〕